

舞鶴市議会 産業建設委員会 活動報告

➤ 令和3年12月から令和4年11月までの活動実績

産業建設委員会 活動総括(令和3年12月～令和4年11月)

今期委員会の概要

- ◆計13回の委員会を開催。議案審査や委員会所管事項の協議のほか、総合計画の点検評価や政策提言を実施。

【議案の審査実績】

- ◆委員会 計9議案(可決すべきもの)
- ◆予算決算分科会 計22議案

【委員名簿】

委員長	今西克己	新政クラブ議員団
副委員長	尾関善之	創政クラブ議員団
委員	石束悦子	日本共産党議員団
委員	上野修身	新政クラブ議員団
委員	鴨田秋津	市民クラブ舞鶴議員団
委員	松田弘幸	公明党議員団

今期の重点項目

- ①農業を支える新たな担い手の育成・有害鳥獣対策の推進に関する調査・研究
- ②防災・減災機能の充実・強化に関する調査・研究

重点項目を踏まえた対応

- ①「農業振興に係る取組」をテーマに先進地視察を実施し、農業の担い手確保や有害鳥獣対策について調査。
- ②先進地視察を実施し、総合治水対策及び流域治水対策について調査。また、由良川治水対策事業の経過について確認。

今期の主な取組

先進地視察

【実施日】2月7日(月)

■兵庫県養父市

- ・国家戦略特区について(オンライン)

【実施日】5月17日(火)～19日(木)

■兵庫県高砂市

- ・総合治水対策について

■熊本県球磨川流域復興局(人吉市)

- ・流域治水対策について

■山口県下関市

- ・農業振興に係る取組について



市内現地視察

【実施日】2月23日(水)

■由良川緊急治水対策(舞鶴市域)完成式典

- ・事業経過の確認

【実施日】7月12日(火)

■主要地方道小倉西舞鶴線白鳥トンネル、国道27号西舞鶴道路

- ・工事の進捗状況の確認

要望活動

■舞鶴市の重点施策に関する合同要望活動

- ・7月19日(火) 京都府庁、NEXCO西日本
- ・8月2日(火) 国土交通省近畿地方整備局
- ・8月18日(木) 国土交通省、関係国会議員

【要望内容】

国・府：関西経済圏における日本海側拠点機能の強化(ほか)
NEXCO西日本：舞鶴若狭自動車道全線4車線化の早期実現

【参加者】今西克己 委員長



■由良川改修促進に関する由良川沿川3市議会合同要望活動

- ・7月25日(月)、26日(火) 国土交通省近畿地方整備局、国会議員(ほか)

【要望内容】

・河川整備計画に位置付けられている地区の早期整備(ほか)

【参加者】今西克己 委員長、尾関善之 副委員長



産業建設委員会 活動総括(令和3年12月～令和4年11月)

政策提言

「農業の担い手確保のための環境づくり」をテーマに、先進地視察、市民と議会のわがまちトークなどを踏まえ、課題の抽出と、その解決のための議論を重ね、3つの政策提言としてまとめて、10月28日(金)に市長へ提出した。

提言① 有害鳥獣被害防止対策の強化と災害に強い農地 基盤整備

- ◆「中丹地域有害鳥獣処理施設」の処理能力機能の強化や狩猟免許等の更新補助などの駆除体制の充実
- ◆農家の実情に合わせた営農支援

提言② 農業の担い手育成の強化

- ◆就業意識の高まる中学生向けの農業に関する教育の充実
- ◆農業関係機関と舞鶴市によるオンラインでの営農相談体制の充実や大浦地域活性化センターなどへの市職員の配置

提言③ ICTを活用した「スマート農業」と「舞鶴農産物の魅力発信」の促進

- ◆安価で使いやすいスマート技術の開発や機器の導入に対する支援
- ◆舞鶴の農産物の魅力化を図るネット通販を充実させるための支援



政策提言に向けた取組

意見交換会「市民と議会のわがまちトーク」や先進地視察を通じて、課題や必要な支援策を検討

■意見交換会「市民と議会のわがまちトーク」

日時：4月24日(日) 午前10時～11時30分

会場：中総合会館 4階ホール

参加者：農業に関心のある学生、JAにのくに関係者、個人の事業家、公募市民など 計25人

テーマ：農業の担い手確保について～もうかる農業にするためには～



■先進地視察（前頁に記載あり）

日時：5月19日(木)

視察先：山口県下関市

テーマ：農業振興に係る取組について



次期への申し送り事項

- ① 東・西市街地の浸水対策事業について、今後の進捗状況の把握と取組の推進に努められたい。
- ② 市内の道路整備に関する今後の事業計画等について、調査・研究に取り組まれたい。
- ③ 農業をはじめとする第一次産業の振興について、政策提言にも掲げたICTの活用などによるスマート化の取組の推進に努められたい。
- ④ 京都舞鶴港の港湾整備や赤れんがパークの整備を核とする観光施策について、事業の進捗を把握するとともに、取組の推進に努められたい。